水エコ新聞

平成２８年

２１日

メンバー

○○○○○　○○○○○　○○○○
○○○○　○○○○

水エコチャレンジ

学校での水の使用量を調べ

ペットボトルの水を使って生活して見てすごくちょうせつが難しかったです。

トイレの水や、飲んだ水、手洗いうがいで使う水などでは、２リットルをこえていると予想しました。でも、ちょうせつをして少しずつ使っていると、二リットルは、いかないことがわかりました。家の中での生活や、学校の中での生活は、水の量ではたし算を使っていると、思いました。（○○○○○）

水エコ実せん

家でも水エコチャレンジ

わたしの家では、お風呂の残り湯をせんたくの水に使っています。

なぜそうしているかというと、お風呂の湯は、ながしてしまうのはもったいない、そして、せんたくには、また新しい水を、使うのがむだづかいだからです。

水は、人や動物にとって大切な飲み物です。ごはんをつくるためにも、水は大切です。むだづかいはしてはいけません。

とける物ととけない物があります。

とけないティッシュペーパーです。とけるものは、トイレットペーパーです。とける物を流しましょう。（○○○○○）

幸田浄水場のひみつ

いろいろな機かいが浄水場にはあって驚きました。

浄水場では、金魚の水かんしや、いろいろ実験をしていて、すごく大変だと思いました。あと、金魚の、水そうでかっている金魚に、ゆぴをつまむようにしてやると、こっちによってきてかわいかったです。

そして、機かいは、ごみがいっぱい浮いている機かいや俳泥池という所があって、土の中に池が、うまっていて、すごくこわいけど、すごいなあとおもいました。あと、大きなタンクがあってその中にきたない水が、入っている所がありました。すごかったです。

さいごに、水を作っているところが、浄水場だったのが、ぴっくりしました。きたない水から、すごく新せんで、きれいな水にしているのが、とてもすごいなーと思いました。（○○○○）

水エコしらべ

わたしはがっこうでみずエコをしました。みずえこをパソコン室でしらべました。

日本は水をたくさん使っていました。でもコンゴ、ウガンダ、ルワンダは、使っているりょうがすくなかったです。安全な水が足りないからです。

わたしは水エコのことをいっぱい調べて人間がいきていけるみずをのんでほしいとおもいます。ダムを作って、水が使えるようになったらいいなあと思います。（○○○○）

下水道のやくわり

六月二十三日体育館で四年生みんなで下水道のことを調べました。市役所の人や、水をかんりする人にいろいろなことを教えてもらいました。

水質コーナーでは、ジュース、川の水、水道水でよごれがどれだけあるのかを調べました。びせい生物観察コーナーではびせい生物けんびきようでどこにびせい生物がいるかを調べました。わたしは、スピロストマム、アルケラというびせい生物を見つけられました。水に紙をとかすコーナーでは、ティッシュはまったくとけず、トイレットペーパーはあっというまにとけてしまい、結果はトイレットペーパーしかトイレにはながしてはいけないということが分かりました。

下水道のエコの取り組みコーナーではいろいろなものをさわりました。

最後に、わたしの思ったことは、最初はどんなことか、なにもわからなかったけど、だんだんおもしろくなってきてきょうみをもつようになりました。下水道の人や、市役所の人たちに、いろいろ教えてもらって、わたしは、もっと下水道のことを知りたいと思いました。（○○○○）

水エコせんげん！

水をむだにしないようにしよう。

第六回 コラボ実践コンテスト応募作品